

H30年 1学期学校自己評価(生徒・保護者・職員)考察

アンケート回答率

	在籍(人)	回収(人)	生徒(%)	保護者(人)	保護者(%)
1年1組	31	30	96.8	18	58.1
1年2組	32	29	90.6	25	78.1
1年3組	31	30	96.8	27	87.1
1年4組	32	32	100.0	30	93.8
2年1組	33	32	97.0	29	87.9
2年2組	33	31	93.9	28	84.8
2年3組	33	33	100.0	30	90.9
2年4組	32	29	90.6	24	75.0
3年1組	37	37	100.0	36	97.3
3年2組	37	34	91.9	29	78.4
3年3組	34	32	94.1	32	94.1
3年4組	37	36	97.3	29	78.4
全校	402	385	95.8	337	83.8

<<<学校重点目標に準拠した考察>>>

重点1

授業が分かる、できる授業の実践、授業改善に取り組みます。

授業はわかりやすいですか(生徒項目1)

本校では全体的にわかりやすい授業が行われていると思いますか(保護者項目6)

H28 生徒

	AB	CD	
全校	88%	12%	
1年	94%	6%	○
2年	87%	13%	◇
3年	82%	18%	◎

H28 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	77%	23%	17%
1年	/		
2年	/		
3年	/		

H29 生徒

	AB	CD	
全校	85%	15%	
1年	86%	14%	☆
2年	90%	10%	○
3年	81%	19%	◇

H29 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	73%	27%	14%
1年	84%	16%	18% ☆
2年	70%	30%	12% ○
3年	67%	33%	13% ◇

H30 生徒

	AB	CD	
全校	85%→	15%→	
1年	93%	7%	
2年	79%↓	21%↑	☆
3年	81%↓	19%↑	○

H30 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	76%↑	24%↓	16%
1年	80%	20%	13%
2年	70%↓	30%↑	15% ☆
3年	77%↑	23%↓	18% ○

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない (E:わからない)

【結果】生徒:全体88%→85%→85% 3年94%→90%→81% 2年86%→79% 1年93%
 保護者:全体77%→73%→76% 3年70%→77% 2年84%→70% 1年80%

【考察】学校全体では大きな変化は見られない。学年が上がるにつれて、内容の難しさに関係しながら下がっていく傾向になる。保護者のアンケートでは3年で数値を上げている。一方でE回答(わからない)の数値は全学年、10%を超えている。学校開放日の参観の様子だけでなく、学習について進捗の様子など学年通信で紹介するなどして、親子間での会話作りで意識を高めることも手立てではないか。学校としても、授業改善や授業の質を向上させる努力を継続していく。

家庭学習に毎日取り組んでいますか(生徒項目2)

お子さんは毎日家庭学習をすることができる環境ができていると思いますか(保護者項目7)

H28 生徒

	AB	CD	
全校	80%	20%	
1年	80%	20%	○
2年	75%	25%	◇
3年	84%	16%	◎

H28 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	60%	40%	3%
1年			
2年			
3年			

H29 生徒

	AB	CD	
全校	79%	21%	
1年	82%	18%	☆
2年	72%	28%	○
3年	84%	16%	◇

H29 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	60%	40%	2%
1年	71%	29%	1%
2年	55%	45%	3%
3年	56%	44%	3%

H30 生徒

	AB	CD	
全校	81%→	19%→	
1年	86%	14%	
2年	87%↑	13%↓	☆
3年	71%→	29%→	○

H30 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	59%→	41%→	4%
1年	65%	35%	2%
2年	62%↓	38%↑	3%
3年	52%↓	48%↑	7%

【結果】生徒:全体80%→79%→81% 3年80%→72%→71% 2年82%→87% 1年86%
 保護者:全体60%→60%→59% 3年55%→52% 2年71%→62% 1年65%
 【考察】全体でのパーセントは大きく変わらなかった。2年生ではH29 2学期では76%に対して、家庭学習の意識の高まり(87%)がうかがえる。しかし、保護者のアンケートでは、数値を下げていることがわかる。生徒は意欲的な反面、保護者の数値が下がっているのは、親子で学習内容の認識のズレがあるのかもしれない。課題を明確にするなどして、やるべきことが共通な認識にすることも大切である。

学習指導(職員項目1, 2, 3, 5)

	職員			H28	H29	H30
	AB	AB	AB	CD	CD	CD
学習問題・課題を板書しているか(課題の明確化)	81%	80%	84%↑	19%	20%	16%↓
話し合う場面を取り入れているか(情報交換)	71%	63%	72%↑	29%	38%	28%↓
わかる授業の・できる授業の実践(授業改善)	48%	61%	54%↓	52%	39%	46%↑
授業と家庭学習の連続性(家庭学習の定着が図れたか)	63%	75%	56%↓	37%	25%	44%↑

【結果と考察】授業の工夫に努力している職員が多くなり、特に話し合う場面に力を入れている。自分の考えをより深めていく場面は大切になってくる。今後は確かな学力の定着をさせることができるようにより一層の授業改善や個に応じた指導を大切にして、基礎基本の徹底に努める。NRTなどの結果を受け、各教科の改善に取り組んでいく。一方で、授業と家庭学習の連続性では、数値を下げているので、家庭学習の有効な面を改めて探っていく必要がある。

重点2 生徒や教師が協力し、三中をいじめや差別を許さない学校にしていきます。

学校は楽しいですか(生徒項目9)

お子さんは充実した(楽しい)学校生活を送っていると思いますか(保護者項目1)

H28 生徒

	AB	CD	
全校	81%	19%	
1年	85%	15%	○
2年	80%	20%	◇
3年	77%	23%	◎

H28 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	89%	11%	2%
1年			
2年			
3年			

H29 生徒

	AB	CD	
全校	78%	22%	
1年	78%	22%	☆
2年	84%	16%	○
3年	73%	27%	◇

H29 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	87%	13%	2%
1年	93%	7%	3%
2年	86%	14%	2%
3年	84%	16%	1%

H30 生徒

	AB	CD	
全校	78%→	22%→	
1年	90%	10%	
2年	68%↓	32%↑	☆
3年	78%↓	22%↑	○

H30 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	89%→	11%→	2%
1年	90%	10%	1%
2年	88%↓	12%↑	3%
3年	88%→	12%→	2%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない (E:わからない)

【結果】生徒:全体81%→78%→78% 3年85%→84%→78% 2年78%→68% 1年90%
 保護者:全体89%→87%→89% 3年86%→88% 2年93%→88% 1年90%

【考察】全体的な数値の変化はあまり変わらない。ただ、学年が上がるにつれて、下がっていく理由が、このアンケートだけでは分からない。学習への不安感や人間関係の不安定さなどが要因と考えられる。特に2年の数値が低いのが気になる。保護者では9割近く「楽しい学校生活」を送っていると回答している。この差は生徒は自分の気持ちを言葉などで表現していないなどが考えられる。子どもたちの自信を高め、さらに力を伸ばせるように、今後、何をしていけばいいのかを考え、見通しを持てるような一人ひとりによりそう指導を心がけていく。

三中にはいじめや差別を許さない雰囲気がある(生徒項目8)

本校生徒は思いやりのある行動ができていると思いますか(保護者項目5)

H28 生徒

	AB	CD	
全校	61%	39%	
1年	67%	33%	○
2年	52%	48%	◇
3年	63%	37%	◎

H28 保護者 E抜き換算

	AB	CD	
全校	70%	16%	
1年			○
2年			◇
3年			◎

E回答
13%

H29 生徒

	AB	CD	
全校	58%	42%	
1年	64%	36%	☆
2年	49%	51%	○
3年	61%	39%	◇

H29 保護者 E抜き換算

	AB	CD	
全校	77%	23%	
1年	84%	16%	☆
2年	68%	32%	○
3年	81%	19%	◇

E回答
13%
24%
7%
11%

H30 生徒

	AB	CD	
全校	53%	47%	
1年	64%	36%	
2年	57% ↓	43% ↑	☆
3年	40% ↓	60% ↓	○

H30 保護者 E抜き換算

	AB	CD	
全校	75% →	25% →	
1年	72%	28%	
2年	81% →	19% →	☆
3年	72% ↑	28% ↓	○

E回答
12%
14%
13%
11%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない (E:わからない)

【結果】生徒:全体61%→58%→50% 3年67%→49%→40% 2年64%→57% 1年64%
保護者:全体70%→77%→75% 3年68%→72% 2年84%→81% 1年72%

【考察】生徒の結果では年々、低下傾向にある。毎年、1年生が60%台スタートが気になる。そう感じるものは何かを探っていく必要がある。また、数値から生徒自身が良くない状況を意識していることが分かる。この意識を大切に、日常の生徒の言動に気をつけ、その場での指導や道徳での指導も生徒にあった内容を行うなどタイムリーな指導を進めて行く。また、生徒自らの行動、生徒会活動を通しての活動を取り入れて行くことや人権教育などに絡め、身近な課題として考えさせるように取り組むことも大切である。

生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)

いじめや差別を絶対ゆるさない指導、雰囲気につとめている(職員項目12)

職員	H28	H29	H30	H28	H29	H30
	AB	AB	AB	CD	CD	CD
生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)	90%	93%	97% ↑	10%	7%	3% ↓
いじめや差別を絶対ゆるさない指導、雰囲気につとめている(職員項目12)	100%	100%	93% ↓	0%	0%	7% ↑

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない (E:わからない)

【結果と考察】多くの職員が、何とかしようと考えている。忙しい中で生徒に関わっている姿が見られる。生徒アンケートにあるように、いじめを許さない雰囲気が低下してきている部分を改善するために、職員研修等でまずは、教師側の人権意識を高く持つことといじめは許さないという高い意識を持つことが必要である。

学校生活は安心・安全な環境であると思う
(生徒項目10)

学校生活は安心で安全な環境であると思いますか
(保護者項目4)

H28 生徒

	AB	CD	
全校	84%	16%	
1年	74%	26%	○
2年	86%	14%	◇
3年	90%	10%	◎

H28 保護者 E抜き換算

	AB	CD		E回答
全校	84%	16%		5%
1年	81%	19%	○	7%
2年	87%	13%	◇	5%
3年	83%	17%	◎	4%

H29 生徒

	AB	CD	
全校	79%	21%	
1年	81%	19%	☆
2年	71%	29%	○
3年	85%	15%	◇

H29 保護者 E抜き換算

	AB	CD		E回答
全校	87%	13%		5%
1年	94%	6%	☆	6%
2年	79%	21%	○	4%
3年	90%	10%	◇	4%

H30 生徒

	AB	CD	
全校	79%→	21%→	
1年	88%	12%	
2年	80%→	20%→	☆
3年	70%→	30%→	○

H30 保護者 E抜き換算

	AB	CD		E回答
全校	83%↓	17%↑		5%
1年	81%	19%		3%
2年	85%↓	15%↑	☆	5%
3年	82%↑	18%↓	○	7%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない (E:わからない)

【結果】生徒:全体84%→79%→79% 3年74%→71%→70% 2年81%→80% 1年88%
 保護者:全体84%→87%→83% 3年81%→79%→82% 2年94%→85% 1年81%

【考察】生徒の数値は大きな変化は見られない。保護者のアンケートでは3年はアップしたが、2年では低下した。3年は新校舎の安全性という見方が数値を引きあげたと感じる。生徒に対しては、生徒相談で困りごとや人間関係の悩みなどを聞くなど、生徒の不安の軽減及び解消を図っていく。

重点3 キャリア教育を推進し、三中に地域から学ぶ学習を取り込みます。

学校の中で、進路や生き方について考えた
り、学んだりする機会がある(生徒項目7)

各学年の生徒の実態に応じて、進路(キャリア)学習が役
立っていますか。適切な進路選択に役立っていますか
(保護者項目9)

H28 生徒

	AB	CD	
全校	79%	21%	
1年	71%	29%	○
2年	74%	26%	◇
3年	92%	8%	◎

H28 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	78%	22%	47%
1年			
2年			
3年			

H29 生徒

	AB	CD	
全校	85%	15%	
1年	74%	26%	☆
2年	82%	18%	○
3年	94%	6%	◇

H29 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	75%	25%	32%
1年	83%	17%	42%
2年	69%	31%	35%
3年	74%	26%	12%

H30 生徒

	AB	CD	
全校	86%→	14%→	
1年	78%	22%	
2年	86%↑	14%↓	☆
3年	94%↑	6%↓	○

H30 保護者 E抜き換算

	AB	CD	E回答
全校	71%↓	29%↑	30%
1年	81%	19%	47%
2年	73%↓	27%↑	30%
3年	64%↓	36%↑	17%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない (E:わからない)

【結果】生徒:全体79%→85%→86% 3年71%→82%→81% 2年86%→79% 1年93%
保護者:全体78%→75%→71% 3年69%→64% 2年83%→73% 1年81%
【考察】目立つのがE回答の多さである。1年では約50%が分からないと回答している。総合的な学習などの取り組みをより発信していくことが大切であり、1年からの継続性、発展性を持った活動を明確にして、3年間を見通したものを説明する機会を持るとよい。生徒アンケートの数値は進路学習や進路クラブなどの取り組みが生徒に理解されている。また、地域の学習ボランティアをはじめとして、さまざまなボランティアの方の支援を受けながら、進めていきたい。

学校と家庭の連携

学校、学年、学級だより、絆メールなどで学校の様子をお伝えしていますが、十分に伝わっていると思いますか。
(保護者項目12)

学校開放日や三中体験授業(新入生向け)を通して、学校への理解や関心が高まっていると思いますか。(保護者項目13)

本校は、保護者や地域の要望に前向きにこたえようとしていると思いますか(保護者項目14)

	保護者			H28	H29	H30
	AB	AB	AB	CD	CD	CD
学校、学年、学級だより、絆メールなどで学校の様子が十分に伝わっているか	86%	87%	89%↑	14%	13%	11%↓
学校開放日や三中体験授業(新入生向け)を通して、学校への理解や関心が高まっているか	84%	85%	85%→	16%	15%	15%→
本校は、保護者や地域の要望に前向きにこたえようとしているか。	83%	84%	84%→	17%	16%	16%→

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない

情報発信に理解を示す保護者が9割近くいる。今後も続けていきたい。生徒の姿を見る機会である学校開放日に関心が高いことがうかがえる。学校への関心の高さ、期待の高さを実感すると共に、今後も保護者、地域、学校の連携を深めて教育の向上と充実につなげていきたい。地域や保護者との関係でも、8割は好意的に受けとめられている。